

IV 良質な個別サービスの実施(高齢者福祉施設)

【 評価項目 】		a	b	c	Na	判断の理由
A-1 利用者の尊重						
(1) 利用者の尊重						
1	1	○				コミュニケーションのとり方は「施設サービス提供マニュアル」に明示され、全職員対象の接遇マナー研修を実施している。さらに、信頼関係を構築するために巡回を密にし、毎日の声かけを行い、約束を守る等の具体的な取り組みが確認できたので、a評価とした。
2	2	○				入園者懇談会・施設生活便宜改善アンケート・嗜好調査・意見箱の設置・ケアプラン評価会議への利用者の出席等、利用者の意向把握機会が十分確保されている。その上で「24時間シート」に基づいた利用者一人ひとりを尊重したケアが提供されていることが確認できたので、a評価とした。
(2) 利用者の権利擁護						
3	1	○				施設サービス提供マニュアル及び就業規則に事業所の基本姿勢が明示されている。さらに、職員の意識を啓発するための研修も行われ、成年後見制度や権利擁護について利用者に情報提供し、現実に利用されていることから、a評価とした。
(3) 家族との連携・交流						
4	1	○				ケアカンファレンスへの家族参画・利用者誕生会及び施設行事への招待等、積極的な連携・交流をはかっている。さらに、毎月1回以上、看護師が家族への定期連絡を行い、必要に応じて担当職員が速やかに連絡をとる体制が整備されていることから、a評価とした。
(4) 生活環境づくり						
5	1	○				10名を1単位とするユニットケアを行っている。居室は全個室で利用者の使い慣れた家具等が自由に持ち込まれている。ユニットには談笑コーナーもあり、会食・テレビ視聴・会話等、仲間とともに楽しむスペースもある。さらに「住まいのありかた委員会」を設置する等、積極的に取り組んでいることから、a評価とした。
(5) 終末期ケア						
6	1	○				「看取り介護に関する指針」を明示している。さらに、「看取り介護マニュアル」を作成しマニュアルにそった研修を実施している。また、終末期には、嘱託医・看護師・生活相談員・介護士・栄養士が家族と関わり、家族の同意のもと、個室(居室)を看取りの場所としていることから、a評価とした。
A-2 日常生活支援						
(1) 食事						
7	1	○				栄養ケアマネジメントに取り組み、「個別サービス提供手順書」に基づいて利用者一人ひとりにあった食事提供及び介助が実施されていることから、a評価とした。
8	2	○				年2回の嗜好調査・毎日の残菜調査を実施し、利用者の嗜好把握に努めている。また、各ユニットでご飯を炊き、お汁を温めて、食事時間・場所も利用者の希望に応じている。平成22年度より「食事委員会」を設置し、利用者の食環境の、さらなる向上を目指していることから、a評価とした。

【 評価項目 】		a	b	c	Na	判断の理由
9	3 喫食環境(食事時間を含む)に配慮している。	○				利用者一人ひとりの食事は「24時間シート」に基づき提供されている。食事時間・場所も利用者の希望に応じている。平成22年度より「食事委員会」を設置し、必要に応じて改善していることから、a評価とした。
(2) 入浴						
10	1 入浴は、利用者の身体状況や介助方法など個人的事情に配慮している。	○				「施設サービス提供管理マニュアル」及び「個人別サービス提供手順書」により適切に対応していることが確認できたので、a評価とした。
11	2 入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	○				実施日時は定められているものの、状況に応じて変更できる体制が整備されている。また、失禁時・発汗時の個別対応及び一週間あたりの入浴回数も利用者の要望に応じる体制があることから、a評価とした。
12	3 浴室・脱衣場等の環境に配慮している。	○				暖冷房・扇風機が設置され、入浴は完全に一人ずつ入る体制がとられていることから、a評価とした。
(3) 排泄						
13	1 排泄介助は利用者の身体状況や介助方法など個人的事情に配慮している。	○				「個人別サービス提供手順書」により適切に対応している。また、排泄介助は必ず個室で行われていることから、a評価とした。
14	2 トイレ環境に配慮している。		○			プライバシーに配慮したトイレ構造・設備が整えられ、トイレ環境は清潔に保たれているものの、暖冷房設備が整備されていないため、b評価とした。
(4) 移乗・移動						
15	1 移乗・移動介助は、利用者の身体状況や介助方法など個人的事情に配慮している。	○				「個人別サービス提供手順書」により適切に対応していることから、a評価とした。
(5) 外部介護サービスの利用						
16	1 外部の介護サービスの利用ができるよう必要な支援を行っている。				○	非該当
(6) 認知症利用者への対応						
17	1 認知症利用者への対応が適切に行われている。	○				認知症に関する研修を施設内及び施設外で受講できる体制を整備し実施している。また、利用者一人ひとりの対応は、ケアプランにそって適切に実施されていることから、a評価とした。
(7) 整容						
18	1 利用者の身だしなみや清潔への配慮について支援が行われている。	○				利用者の好みを配慮しつつ、家族の協力を得て、身だしなみや清潔への配慮を行っている。調査当日お会いした利用者さんの身だしなみは、きちんと整えられ、清潔感を感じたので、a評価とした。
19	2 利用者の個性や好みを尊重し、理容・美容への支援を行っている。	○				外部の理美容業者が定期的に移動理美車で来園し、利用者の理髪を行っている。また、外部の理美容院での理髪希望者には「個別外出」として対応できる体制が整備されていることから、a評価とした。

【 評価項目 】		a	b	c	Na	判断の理由
(8) 睡眠						
20	1 安眠できるように配慮している。	○				居室は全室個室で、居室内の照明点灯・消灯は利用者の要望に応じて対応している。また、夜間に行った個別支援は介護記録手順書にそい記録されていることから、a評価とした。
(9) 健康管理						
21	1 日常の健康管理は適切である。	○				嘱託医・歯科医の定期的な往診により利用者の健康管理・相談が適切に行われている。また、看護師は嘱託医や施設職員と連携を保ちつつ、健康管理はもちろん、感染症予防・褥瘡予防に務め、その結果を記録にとどめていることから、a評価とした。
22	2 必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	○				利用者の容態急変等緊急時の対応が明示され、嘱託医及び協力医療機関とも日常的に連携が取れていることから、a評価とした。
23	3 内服薬・外用薬等の扱いは確実にされている。	○	-			「施設サービス提供管理マニュアル」の中で、薬の管理として、準備から記録に至るまで詳細に明示されていることから、a評価とした。
(10) 外泊、外出						
24	1 外出、外泊は利用者の希望に応じて行われている。	○				「施設サービス提供管理マニュアル」に外出・外泊の対応が明示されている。外出は利用者の希望に応じて「個別外出」として対応し、外泊は家族の付き添いのもと実施していることから、a評価とした。
(11) 所持金・預かり金の管理						
25	1 預かり金について、適切な管理体制が作られている。	○				「財産管理業務規程」及び「施設サービス提供管理マニュアル(財産管理)」が整備され、それにそった対応をしている。また、自己管理可能な利用者には自己管理していただいていることから、a評価とした。
A-3 自立支援						
(1) 機能回復						
26	1 利用者の心身の状況に応じた機能回復の支援が適切に行われている。	○				毎週1回、理学療法士による機能訓練が実施され、日常的には理学療法士のアドバイスに基づいた日常動作訓練を看護師を中心に施設職員が実施していることから、a評価とした。
(2) 生きがいづくり						
27	1 利用者の余暇活動や生きがいづくりへの支援が適切に行われている。	○				クラブ活動は多くのメニューをそろえ、利用者が自由に選択できる。また、ボランティアを定期的に受け入れ、利用者との触れ合いの機会を持つ等、余暇活動や生きがいづくりに積極的に取り組んでいる。さらに、クラブ活動を外部で発表する機会をもうけていることから、a評価とした。
(3) 地域生活への移行						
28	1 利用者の状況に応じ、地域生活への移行についての支援を行っている。		○			様々な体制は整備しているが、実績が無いため、b評価とした。